

<p>(21) Application No. H-3-48506</p> <p>(22) Date of filing: June 26, 1991</p>	<p>(71) Applicant: 000005108 Hitachi, Ltd. 6, Kandasurugadai 4-chome, Chiyoda-ku, Tokyo</p> <p>(72) Creator: Mitsuo Munakata c/o Mito Factory, Hitachi, Ltd. 1070, Ichige, Katsuta-shi, Ibaraki</p> <p>(72) Creator: Koichi Kasai c/o Mito Factory, Hitachi, Ltd. 1070, Ichige, Katsuta-shi, Ibaraki</p> <p>(74) Agent: Patent Attorney, Yukihiro Takada</p>
---------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(54) [Title of the Device]

ELEVATOR CONTROL PANEL

(57) [Abstract]

[Constitution]

In an elevator control panel constituted by a finger touch type touch panel, a destination floor selection button display 6 can be changed by pressing floor display selection buttons.

[Advantage]

A small-sized inexpensive elevator control panel is provided and the serviceability to passengers is improved.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-1770

(43)公開日 平成5年(1993)1月14日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
B 6 6 B 3/02	K	7814-3F		
	A	7814-3F		
11/02	N	6573-3F		
H 0 1 H 36/00	E	6969-5G		

審査請求 未請求 請求項の数7(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平3-48506

(22)出願日 平成3年(1991)6月26日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)考案者 宗形 三男

茨城県勝田市市毛1070番地 株式会社日立  
製作所水戸工場内

(72)考案者 笠井 光一

茨城県勝田市市毛1070番地 株式会社日立  
製作所水戸工場内

(74)代理人 弁理士 高田 幸彦

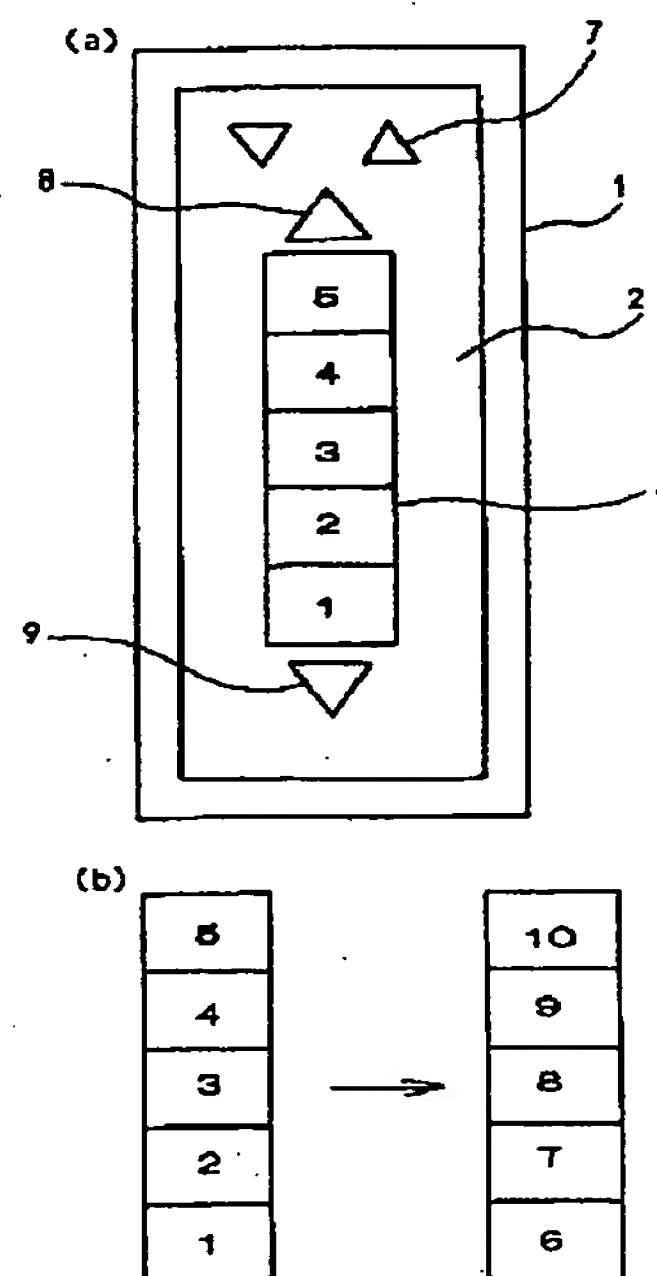
(54)【考案の名称】 エレベータ操作盤

(57)【要約】

【構成】指タッチ式タッチパネルにより構成したエレベータ操作盤において階床表示選択ボタンを押すことにより、行き先階選択ボタン表示6を切り替えることができる。

【効果】小型で安価なエレベータ操作盤の供給、乗客へのサービス性が向上する。

図 1



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】複数階床をサービスするエレベータの乗りかご内又は乗り場に設けたX方向及びY方向の検出器をもつ指タッチ式タッチパネルにより構成したエレベータ操作盤において、前記タッチパネルディスプレイ上に複数の行き先階選択用の表示を行うことを特徴とするエレベータ操作盤。

【請求項2】請求項1において、前記タッチパネルディスプレイ上で複数の行き先階選択用の表示にタッチするエレベータ操作盤。

【請求項3】請求項1において、前記タッチパネルディスプレイ上で複数の行き先階選択用の表示を切り替える手段を持ったエレベータ操作盤。

【請求項4】請求項1または2において、複数の行き先階選択用の表示のうち少なくとも一つは行き先の階床名であるエレベータ操作盤。

【請求項5】請求項1または2において、複数の行き先階選択用の表示のうち少なくとも一つはビル内のテナント名であるエレベータ操作盤。

\*

2

\*【請求項6】請求項1または2において、複数の行き先階選択用の表示のうち少なくとも一つはビル内の売場名であるエレベータ操作盤。

【請求項7】請求項5または6において、行き先階選択用の表示を特定のルールで並べたエレベータ操作盤。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例を示すタッチパネル兼ディスプレイ方式エレベータ操作盤の正面図。

10 【図2】本考案の一実施例を示すタッチパネル兼ディスプレイ方式エレベータ操作盤の正面図。

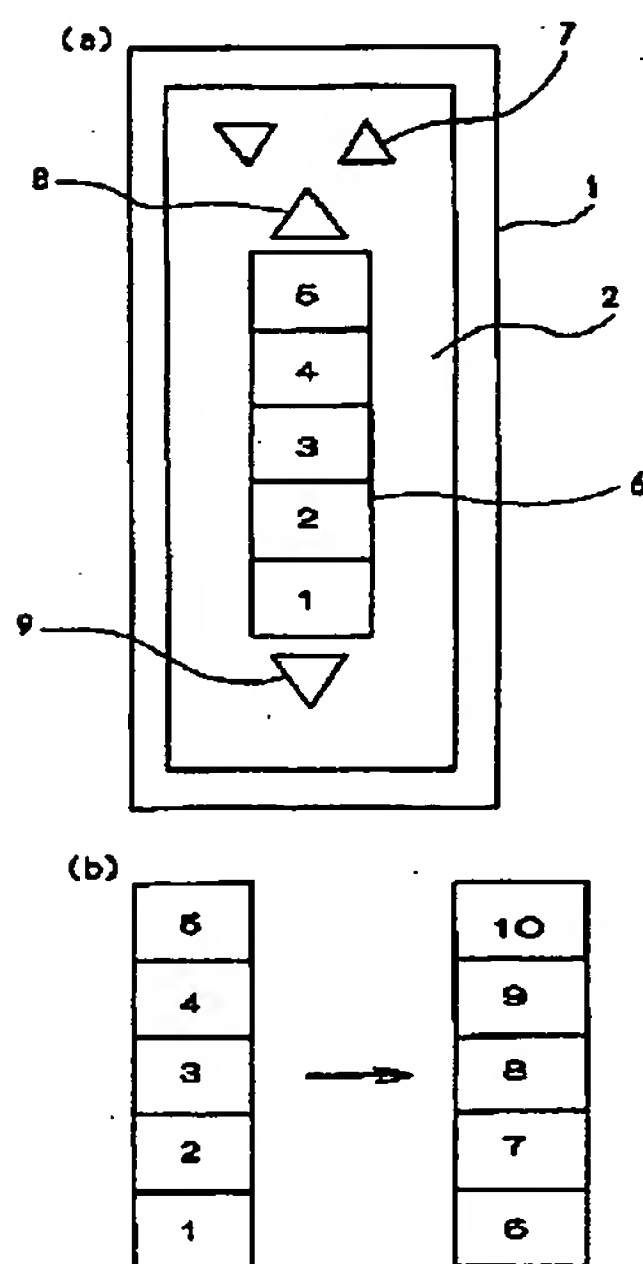
【図3】タッチパネルを応用したエレベータ操作盤の説明図。

## 【符号の説明】

1…操作盤、2…タッチパネル兼ディスプレイ装置、3…X方向検出器、4…Y方向検出器、5…導体、6…行き先階選択ボタン表示、7…エレベータ方向表示、8…上方向画面切り替え表示、9…下方向画面切り替え表示。

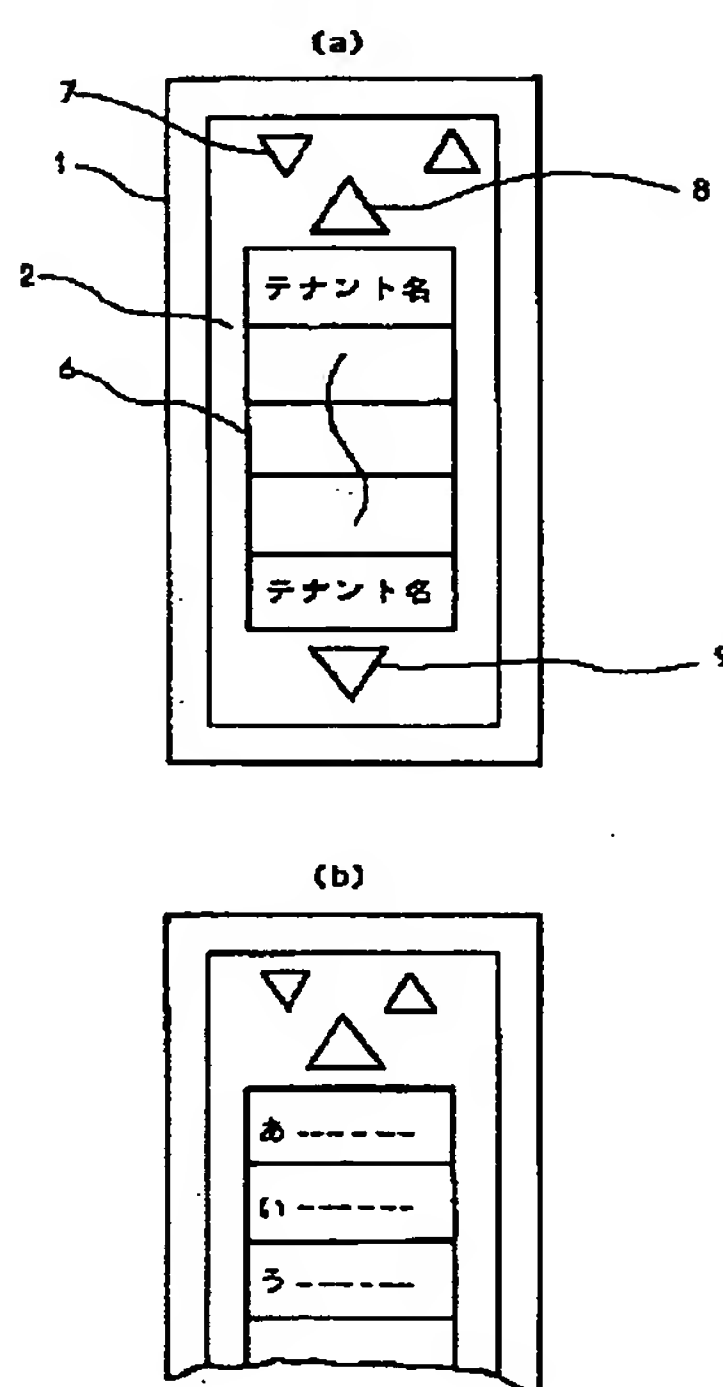
【図1】

図 1



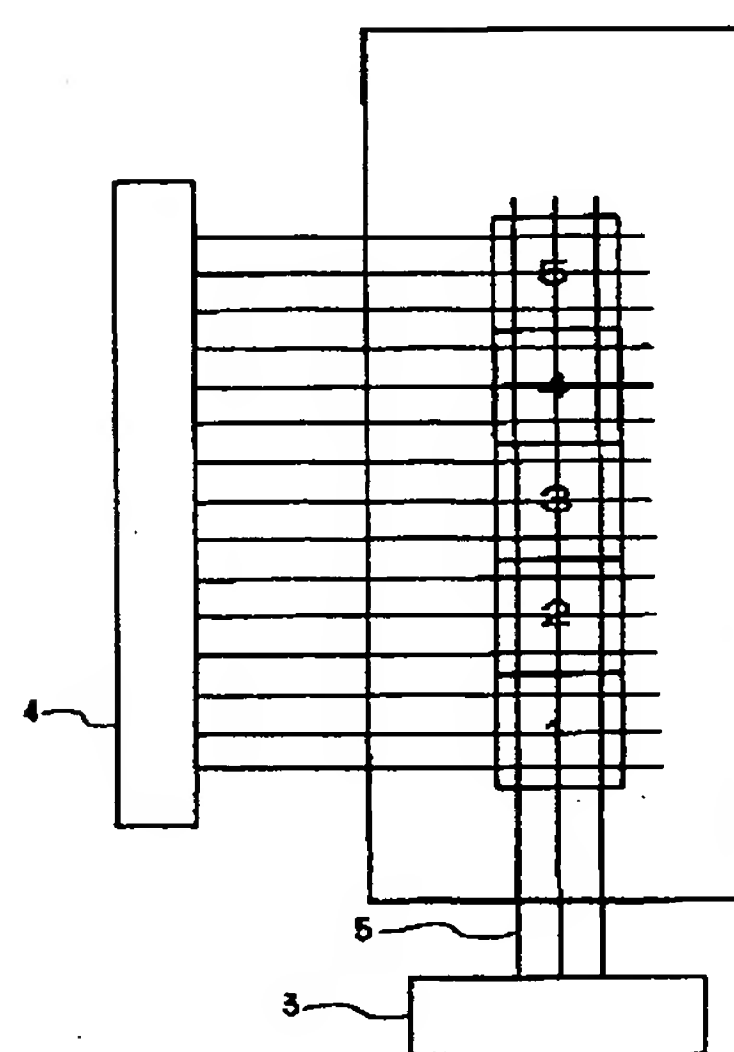
【図2】

図 2



【図3】

図 3



**【考案の詳細な説明】****【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は指タッチ式タッチパネルに係り、行き先階選択ボタンと行き先階選択表示切り替えボタンを設けた乗客の操作に好適なエレベータ操作盤に関する。

**【0002】****【従来の技術】**

エレベータの操作盤は押しボタン式が一般に用いられているが、押しボタン式は可動部の押しボタンを押すことにより、内部の接点が開閉し、信号を出していたため、押しボタンの可動部と固定枠間に塵埃が付着して固着したり、しゅう動摩擦により経年的にがたが増大し、傾きの増大により固着することも発生した。また、ボタンを押したことを登録する応答灯を内蔵するため、操作盤の厚みは70～80mmと厚く、かごからはみ出して昇降路内に突出するので、昇降路内の利用率が悪くなる等の欠点があった。

**【0003】**

これらの問題点を解決するための一案として、特開昭62-88788号公報に開示されるように、押しボタン相当部をタッチパネルとし、呼び登録用応答灯に発光素子をタッチ部周辺に配置するという方式がとられていた。

**【0004】****【考案が解決しようとする課題】**

上記従来技術は、超高層、高層ビル等で操作盤が大型化してしまう場合に、子供や老人などに対する考慮がされておらず、サービス性の点で問題があった。

**【0005】**

本考案の目的は、超高層、高層ビル等の高階床の建築物でも同一で小型の操作盤を提供し、操作性及びサービス性を向上させることにある。

**【0006】****【課題を解決するための手段】**

本考案は上記目的を達成するために、指タッチ式タッチパネルにより構成したエレベータ操作盤において、タッチパネルディスプレイ上の表示を五階床分程度

の表示とし、専用の表示切り替えボタンの操作により、表示画面一括切り替え及び画面スクロール機能を行うものである。

#### 【0007】

##### 【作用】

本考案は操作盤を指タッチ式タッチパネルとし、行き先階選択ボタンの表示を数階床分に限定したことにより、操作盤が小型化し、乗客の操作が容易になる。

#### 【0008】

##### 【実施例】

以下、本考案の一実施例を図面により説明する。

#### 【0009】

図1はエレベータかご内又は乗り場に設置した操作盤1を示す。操作盤1にはタッチパネル兼ディスプレイ装置2を設置する。タッチパネル兼ディスプレイ装置2には行き先階選択ボタン表示6、エレベータ方向表示7と画面切り替え表示部8、9を表示する。

#### 【0010】

図3はタッチパネル兼ディスプレイ装置2の詳細図で、X方向検出器3とY方向検出器4からでた導体5によって構成されている。

#### 【0011】

次に動作について説明する。乗客がエレベータに乗り、操作盤1のタッチパネル兼ディスプレイ部2の行き先階選択ボタンの表示を見て、行きたい階床名が表示されていればそのまま、表示されていなければ画面切り替え表示部8、9に指でタッチし、階床表示を上下に切り替える。自分のいきたい階床が表示されたらその階床名にタッチすることにより、X、Y方向検出器3、4の導体5が接触し、交点を検出して行き先階が登録される。行き先階の登録により、行き先階選択ボタン表示6の色を変える。かごが行き先階に到着すると登録が消去され、行き先階選択ボタン表示6の色を元の色に戻す。

#### 【0012】

次に、行き先階選択ボタン表示6の画面切り替えの動作について説明する。現在、行き先階選択ボタン表示6が一ないし五階床を表示していて乗客が八階床に

いきたい場合は、上方向画面切り替え表示部8にタッチすることにより、行き先階選択ボタン表示6の表示が六ないし十階床に変わる。

【0013】

階床の登録に対する認識は、マイコンエレベータであれば、画面切り替え表示部8, 9をタッチされた回数をカウントすることにより、容易に可能であることはいうまでもない。

【0014】

また、図2(a)のようにテナント、事務所名を行き先階選択表示6の代わりに表示したり、(b)のように五十音別に表示することにより、更にサービス性を高めることができる。

【0015】

【考案の効果】

本考案によれば、行き先階選択ボタンを特定階床分に限定して表示する事により、小型で安価なエレベータ操作盤を提供することができる。

【0016】

また、超高層エレベータ等の高階床ビルでも小型で一定の大きさの操作盤を提供できるので、子供や老人、車椅子利用者などの利用しやすい位置に設置でき、サービス性向上の効果もある。